

板谷和彦教授が、PICMET '17 Conference Brad W. Hosler Outstanding Student Paper Award Nominating Professor を受賞

地域マネジメント研究科板谷和彦教授が、7月11日、米国ポートランドで開催された PICMET (Portland International Center for Management of Engineering and Technology) '17 Conference において、Brad W. Hosler Outstanding Student Paper Award Nominating Professor を受賞しました。

表彰対象となった研究業績は、「Exploring effective factors for the generation of innovative ideas and technologies in functional food R&D」に対する研究指導です。

研究では、健康維持に寄与するとして世界的にも成長著しい機能性食品業界をケースとし、独創的なアイデアを促進するマネジメントを旨として、創造性や偶然の発見 (Serendipity) を軸とする斬新なモデルを提案し、機能性食品業界

74社の研究者114名から得た調査結果を元にアイデア創出に重要な潜在的因子とその影響の道筋を突き止めました。この研究は、イノベーションを導く様々なシーズ技術の創出を促進する研究マネジメントの構築に大きく寄与するものとして期待されています。

なお、Conference は、世界最大級の技術経営の国際会議の一つで、世界中から採択された200件を超える論文が発表されます。本 Award は、その中から修士または博士課程において行った将来性のある優れた技術経営に関する研究をまとめた論文とその指導に対して1件のみを表彰するものです。約20年の歴史を有する Award において日本の大学で指導した日本人学生 (今春、東京農工大大学院を修了した加藤康介氏) が受賞するのは今回が初めての快挙です。



EVENT PHOTO



7/26

さぬきプログラムの修了式とフェアウェル交歓会

修了式では、日本語の初心者だった人も含め、全員が日本語でスピーチを行い、滞在中の思い出や自分の夢を発表。仏生山国際交流会の皆様のご協力により、留学生たちは浴衣姿で式に臨みました。



7/26-8/8

香川県下の高校生対象夏の体験授業

今年度も7月下旬から8月初旬にかけて、香川県下の高校生を対象とした体験授業が開催されました。教育学部、工学部、農学部の各キャンパスで実施、延べ88名の参加がありました。



8/12

「蜷川実花展」関連イベント エントランス・ミニコンサート

高松市美術館「蜷川実花展」関連イベントとして開催されたミニコンサート。約160名の来場者が訪れたエントランスホールに、香川大学ウィンド・アンサンブルによる演奏が響きわたりました。

讃岐弁講座

がしな

「強い」、「すごい」、「きつい」などの意味を持ちます。重いものを『ヒョイ!』と持ち上げたときに「あんた、がいななあ! (あなた、強いですね!)」と言ったり、急な夕立に見舞われたときに「がいに雨が降ってきた! (すごく雨が降ってきた!)」と言ったりします。

発行: 香川大学広報室
soumkot@jim.aokagawa-u.ac.jp

香川大学ホームページ
http://www.kagawa-u.ac.jp/



理事閑話

今、讃岐平野は、美しい。 香川大学 理事・副学長 (財務・施設・地域連携・特命担当) 川池秀文

今、ふるさと 讃岐平野は、圧倒的に美しい。 天気の良い日に、東京からの出張帰りの飛行機から見える、青空の下に広がる讃岐平野の光景は、緑の絨毯のような田んぼ、きらきらと輝くため池、網の目のように張り巡らされた水路など、まるでアート作品のような田園風景、まさに絶景である。 これは、雨が少なく、水資源に乏しい讃岐において、先人の英知と努力によるものであり、今から約1,300年も昔に日本最大級のため池である満濃池の築造をはじめ、これまで永年にわたり約14,600箇所のため池が造られ、また、徳島県の吉野川から導水する香川用水など、日本列島の長さの約半分となる1,200キロメートルを超える水路が開設され、讃岐平野のインフラ、基盤の整備がされたことによるものである。 しかしながら、我々は、昨今の社会経済状況の変化と相まって、農業従事者の減少、耕作放棄地の増加、鳥獣被害の拡大など厳しい農業情勢とともに、地域の人口減少や急速に進行す

る少子高齢化の中で、ため池や水路、田園を維持し、この美しい讃岐平野を継承して行けるのだろうか。ため池や水路などは、稲作を通して、地域の集落、住民によって維持・保全されており、どのように継続させて行くのか。農村地域の水源涵養や洪水防止など多面的機能の低下が懸念される中、県土や自然環境の保全をどうするのか、持続可能な地域社会の構築について、考えていく必要があると思う。 今、国を挙げての地方創生の中で、大学においては、フィールドワークやワークショップの実施など学生の地域理解の推進に取り組んでいる。地域の実情を理解し、人々の価値観の変化などを踏まえて、新しい地域像、地域づくりを考えて行かなければならない。この美しいふるさと、讃岐平野を是非守りたいものである。



香大サークル紹介



弓道部

こんにちは。私たち弓道部は週3回、男女合同で練習に取り組んでいます。全国大会出場経験者から初心者まで様々な部員が所属しており、それぞれが目標をもって弓道を楽しんでいます。今年度も大会や昇級・昇段審査に向け、昨年度を上回る結果を目指します。また、練習や試合ばかりでなくシーズンごとに楽しいイベント (忘年会・追いコン etc...) も満載です。 ■活動場所: 弓道場 (幸町南キャンパス講堂裏)



メルシー笑クラブ

私たちメルシー笑クラブは主にマジック・ジャグリング・パルーンアートの練習をしています。地域イベントや子供会などの外部依頼での発表、部内発表会、大学祭でのショーのために楽しくのんびり活動しています。メンバーのほとんどが大学に入ってから始めた人ばかりで、優しい先輩が一人から丁寧に指導してくれます! 興味のある方はぜひ見に来てください! ■活動場所: 教育学部教室



医学部 ヨット部

ヨット部は、3~11月の毎週土日に高松市ヨット競技場で練習しています。始める時は、ほとんど皆が初心者ですが、西医体優勝という大きな目標に向かって、日々頑張っています。海の上をヨットで駆け抜ける爽快感、レースでの他艇との駆け引きの緊張感はたまりません! また、部員数は少ないですが、みんなとても仲が良く、遠征や学祭など様々な行事で楽しく活動しています。